

KOKUYO

平成27年12月期
第1四半期
〈1～3月〉

連結決算補足資料

平成27年4月24日

コクヨ株式会社

(コード番号 7984)

経営管理本部 財務経理部

お問い合わせ先 : 統括部長 永井 琢也

TEL : 06-6976-1221(大代表)

URL : <http://www.kokuyo.co.jp/>

も く じ

1. 損益計算書の状況	
1-1 連結情報	…… P. 1
1-2 売上高	…… P. 2
1-3 売上総利益	…… P. 3
1-4 販売費及び一般管理費	…… P. 4
1-5 営業利益及び経常利益	…… P. 5
1-6 四半期純利益	…… P. 6
2. 貸借対照表の状況	…… P. 7
3. キャッシュフロー・設備投資の状況	…… P. 8
4. 事業セグメントの損益状況	
4-1 ステーションナリー関連事業	…… P. 9
4-2 ファニチャー関連事業	…… P.10
4-3 通販・小売関連事業	…… P.11
5. 27年12月期の見通し	…… P.12
6. 主なトピックス	…… P.13

(注)この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 損益計算書の状況

◆1-1 連結情報

売上高は、海外事業が伸長したものの、国内事業が前年同期に消費増税前の駆け込み需要があった影響等により減収となり、前年同期比1.8%減の853億円となりました。

利益面では、減収に伴う売上総利益の減少や固定費の増加等により、営業利益は前年同期比13.7%減の64億円となりました。また、経常利益は前年同期比11.0%減の67億円、四半期純利益は前年同期比7.6%減の41億円となりました。

(単位:百万円)

	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	86,966	85,368	△1,598	△1.8%
売上総利益 (率)	30,358 (34.9%)	29,875 (35.0%)	△483 (+0.1p)	△1.6%
販売費及び一般管理費 (率)	22,854 (26.3%)	23,400 (27.4%)	+546 (+1.1p)	+2.4%
営業利益 (率)	7,504 (8.6%)	6,475 (7.6%)	△1,029 (△1.0p)	△13.7%
経常利益 (率)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	△829 (△0.8p)	△11.0%
四半期純利益 (率)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	△338 (△0.3p)	△7.6%

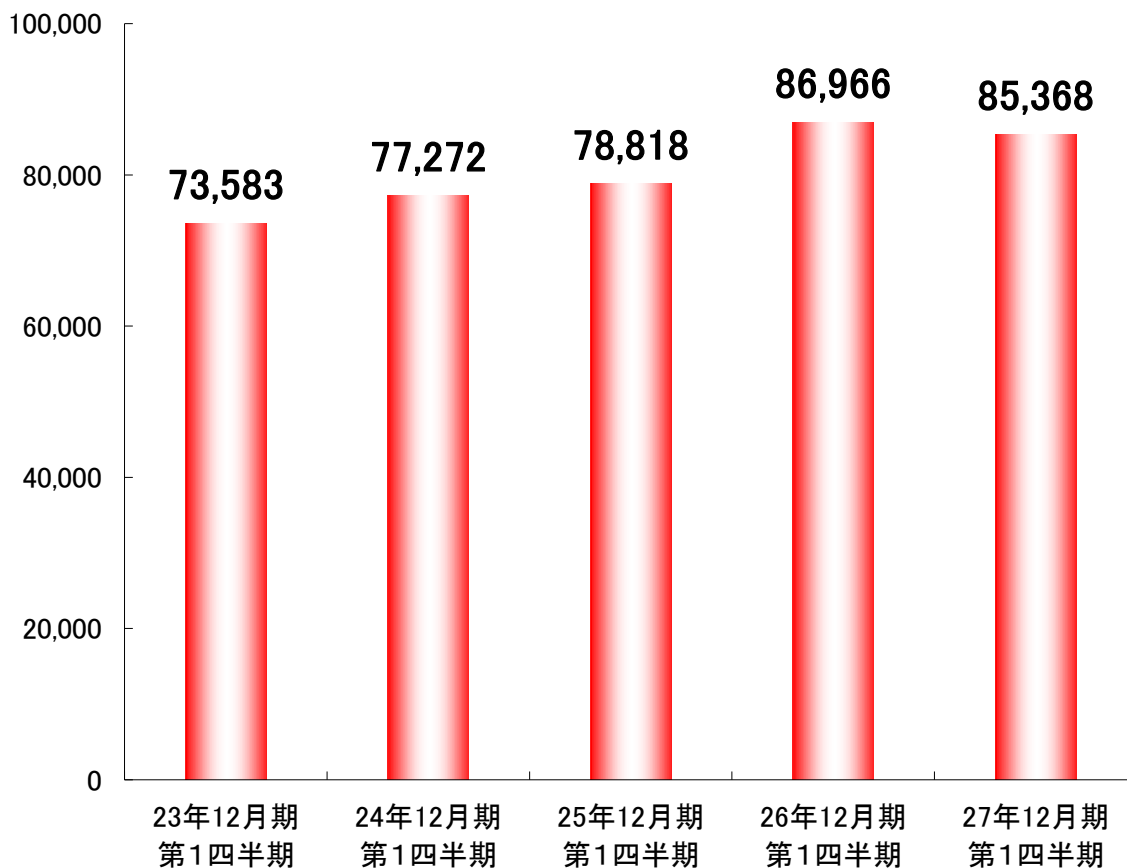
(注)連結子会社22社・持分法適用関連会社1社

1. 損益計算書の状況

◆1-2 売上高

売上高は、海外事業が伸長したものの、国内事業が前年同期に消費増税前の駆け込み需要があった影響等により減収となり、前年同期比1.8%減の853億円となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

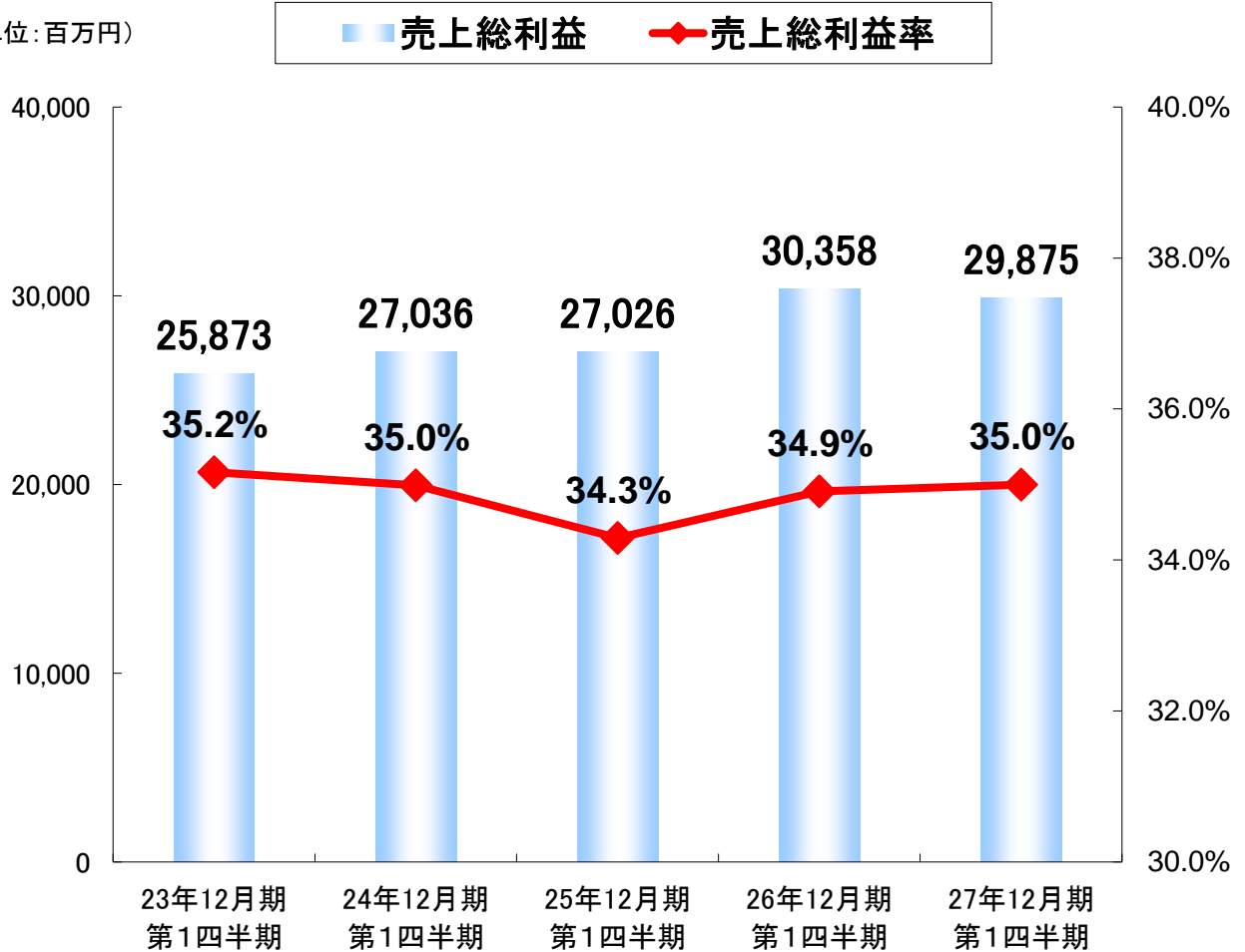
	23年12月期 第1四半期	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	73,583	77,272	78,818	86,966	85,368	△1,598	△1.8%
売上総利益 (率)	25,873 (35.2%)	27,036 (35.0%)	27,026 (34.3%)	30,358 (34.9%)	29,875 (35.0%)	△483 (+0.1p)	△1.6%
販売費及び一般管理費 (率)	21,344 (29.0%)	21,406 (27.7%)	21,740 (27.6%)	22,854 (26.3%)	23,400 (27.4%)	+546 (+1.1p)	+2.4%
営業利益 (率)	4,529 (6.2%)	5,629 (7.3%)	5,285 (6.7%)	7,504 (8.6%)	6,475 (7.6%)	△1,029 (△1.0p)	△13.7%
経常利益 (率)	4,838 (6.6%)	6,077 (7.9%)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	△829 (△0.8p)	△11.0%
四半期純利益 (率)	2,580 (3.5%)	3,103 (4.0%)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	△338 (△0.3p)	△7.6%

1. 損益計算書の状況

◆1-3 売上総利益

売上総利益は、減収により前年同期比1.6%減の298億円となり、売上総利益率は35.0%となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

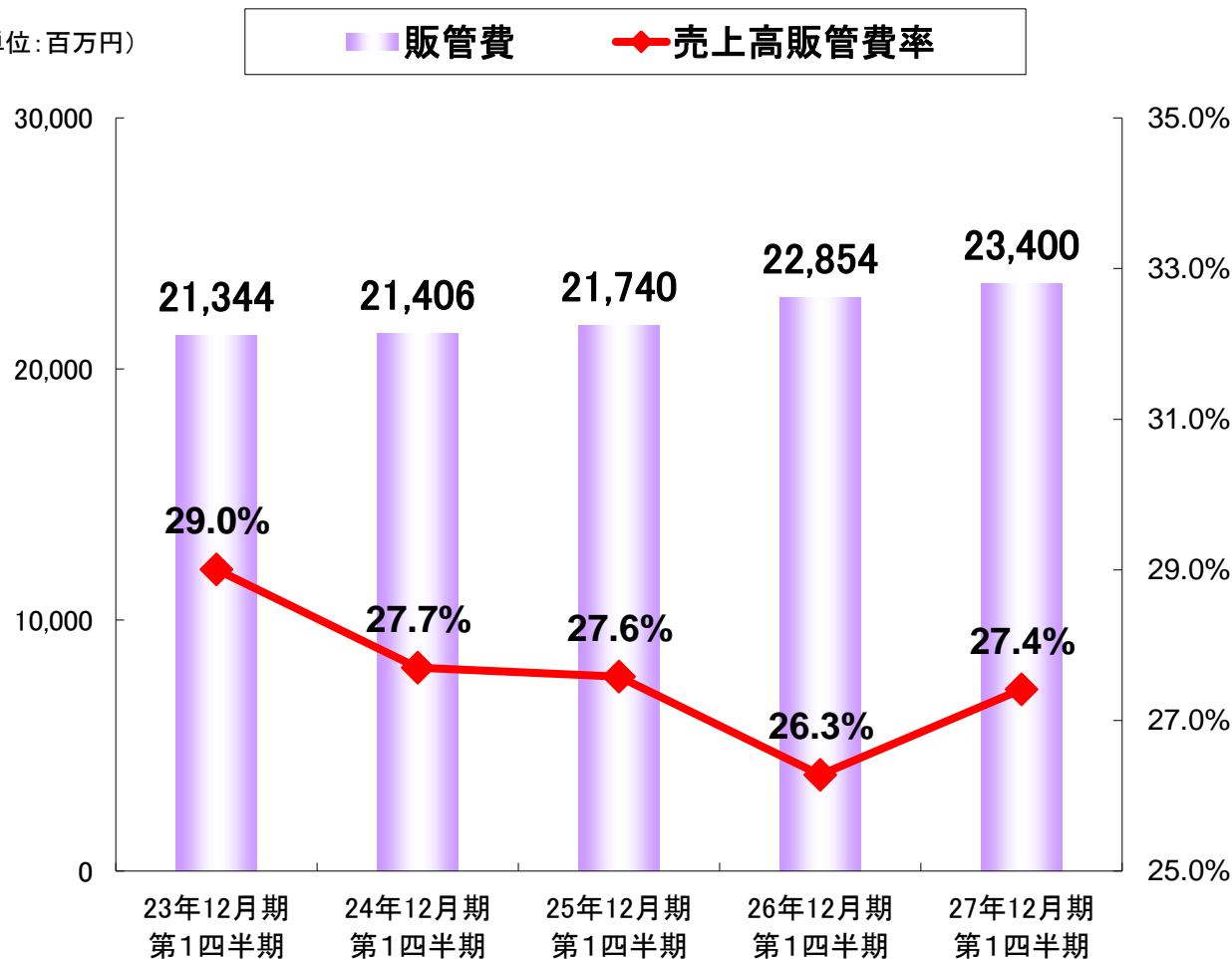
	23年12月期 第1四半期	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	73,583	77,272	78,818	86,966	85,368	△1,598	△1.8%
売上総利益 (率)	25,873 (35.2%)	27,036 (35.0%)	27,026 (34.3%)	30,358 (34.9%)	29,875 (35.0%)	△483 (+0.1p)	△1.6%
販売費及び一般管理費 (率)	21,344 (29.0%)	21,406 (27.7%)	21,740 (27.6%)	22,854 (26.3%)	23,400 (27.4%)	+546 (+1.1p)	+2.4%
営業利益 (率)	4,529 (6.2%)	5,629 (7.3%)	5,285 (6.7%)	7,504 (8.6%)	6,475 (7.6%)	△1,029 (△1.0p)	△13.7%
経常利益 (率)	4,838 (6.6%)	6,077 (7.9%)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	△829 (△0.8p)	△11.0%
四半期純利益 (率)	2,580 (3.5%)	3,103 (4.0%)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	△338 (△0.3p)	△7.6%

1. 損益計算書の状況

◆1-4 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、固定費の増加等により、前年同期比2.4%増の234億円となり、売上高販管費率は27.4%となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	23年12月期 第1四半期	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	73,583	77,272	78,818	86,966	85,368	△1,598	△1.8%
売上総利益 (率)	25,873 (35.2%)	27,036 (35.0%)	27,026 (34.3%)	30,358 (34.9%)	29,875 (35.0%)	△483 (+0.1p)	△1.6%
販売費及び一般管理費 (率)	21,344 (29.0%)	21,406 (27.7%)	21,740 (27.6%)	22,854 (26.3%)	23,400 (27.4%)	+546 (+1.1p)	+2.4%
営業利益 (率)	4,529 (6.2%)	5,629 (7.3%)	5,285 (6.7%)	7,504 (8.6%)	6,475 (7.6%)	△1,029 (△1.0p)	△13.7%
経常利益 (率)	4,838 (6.6%)	6,077 (7.9%)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	△829 (△0.8p)	△11.0%
四半期純利益 (率)	2,580 (3.5%)	3,103 (4.0%)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	△338 (△0.3p)	△7.6%

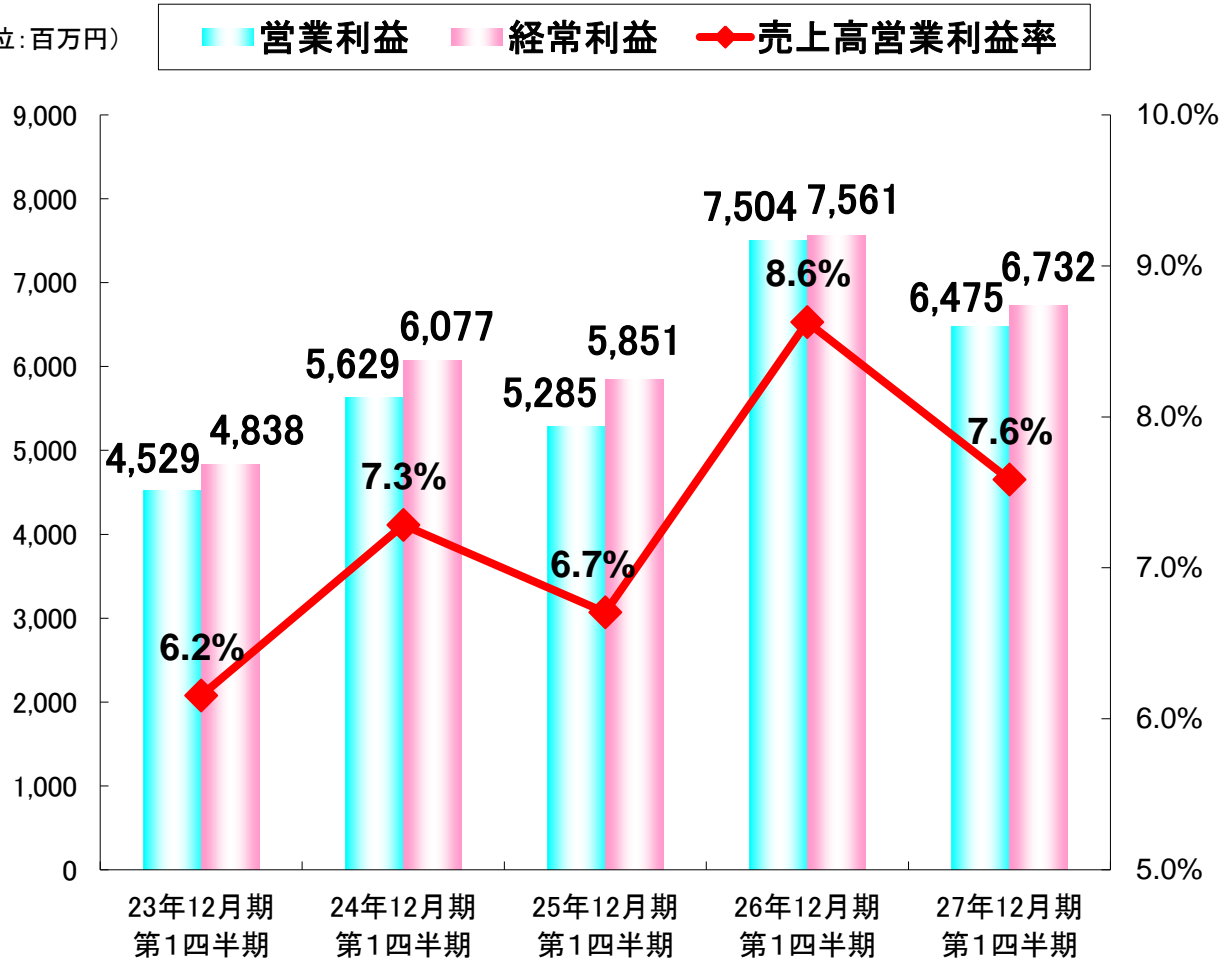
1. 損益計算書の状況

◆1-5 営業利益及び経常利益

営業利益は、減収に伴う売上総利益の減少や固定費の増加等により、前年同期比13.7%減の64億7500万円となりました。

経常利益は、前年同期比11.0%減の67億7320万円となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	23年12月期 第1四半期	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	73,583	77,272	78,818	86,966	85,368	△1,598	△1.8%
売上総利益 (率)	25,873 (35.2%)	27,036 (35.0%)	27,026 (34.3%)	30,358 (34.9%)	29,875 (35.0%)	△483 (+0.1p)	△1.6%
販売費及び一般管理費 (率)	21,344 (29.0%)	21,406 (27.7%)	21,740 (27.6%)	22,854 (26.3%)	23,400 (27.4%)	+546 (+1.1p)	+2.4%
営業利益 (率)	4,529 (6.2%)	5,629 (7.3%)	5,285 (6.7%)	7,504 (8.6%)	6,475 (7.6%)	△1,029 (△1.0p)	△13.7%
経常利益 (率)	4,838 (6.6%)	6,077 (7.9%)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	△829 (△0.8p)	△11.0%
四半期純利益 (率)	2,580 (3.5%)	3,103 (4.0%)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	△338 (△0.3p)	△7.6%

1. 損益計算書の状況

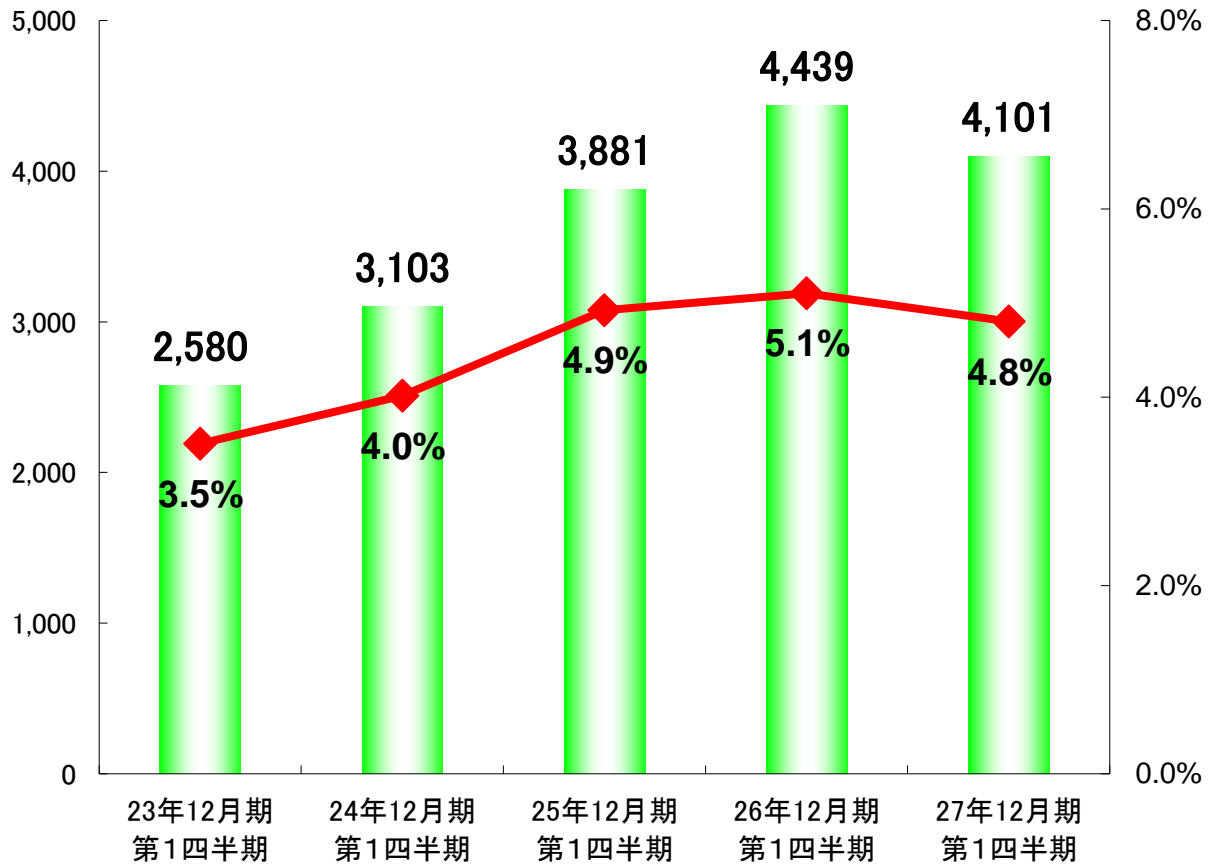
◆1-6 四半期純利益

四半期純利益は、前年同期比7.6%減の41億円となりました。

- 特別利益・・・関係会社株式売却益 1,215百万円、投資有価証券売却益 51百万円
- 特別損失・・・製品自主回収関連損失引当金繰入額 1,240百万円

(単位:百万円)

■ 四半期純利益 ◆ 売上高四半期純利益率



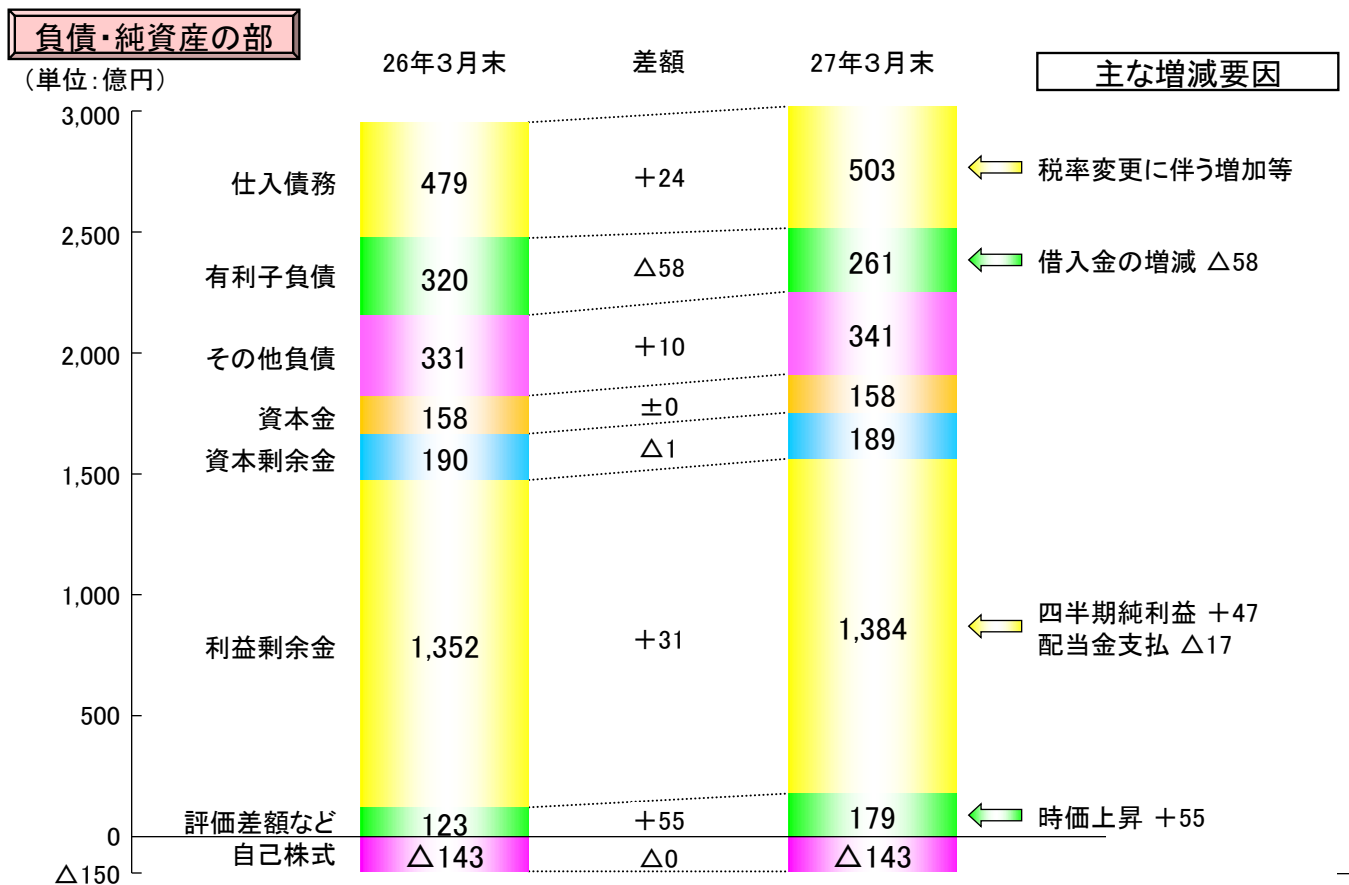
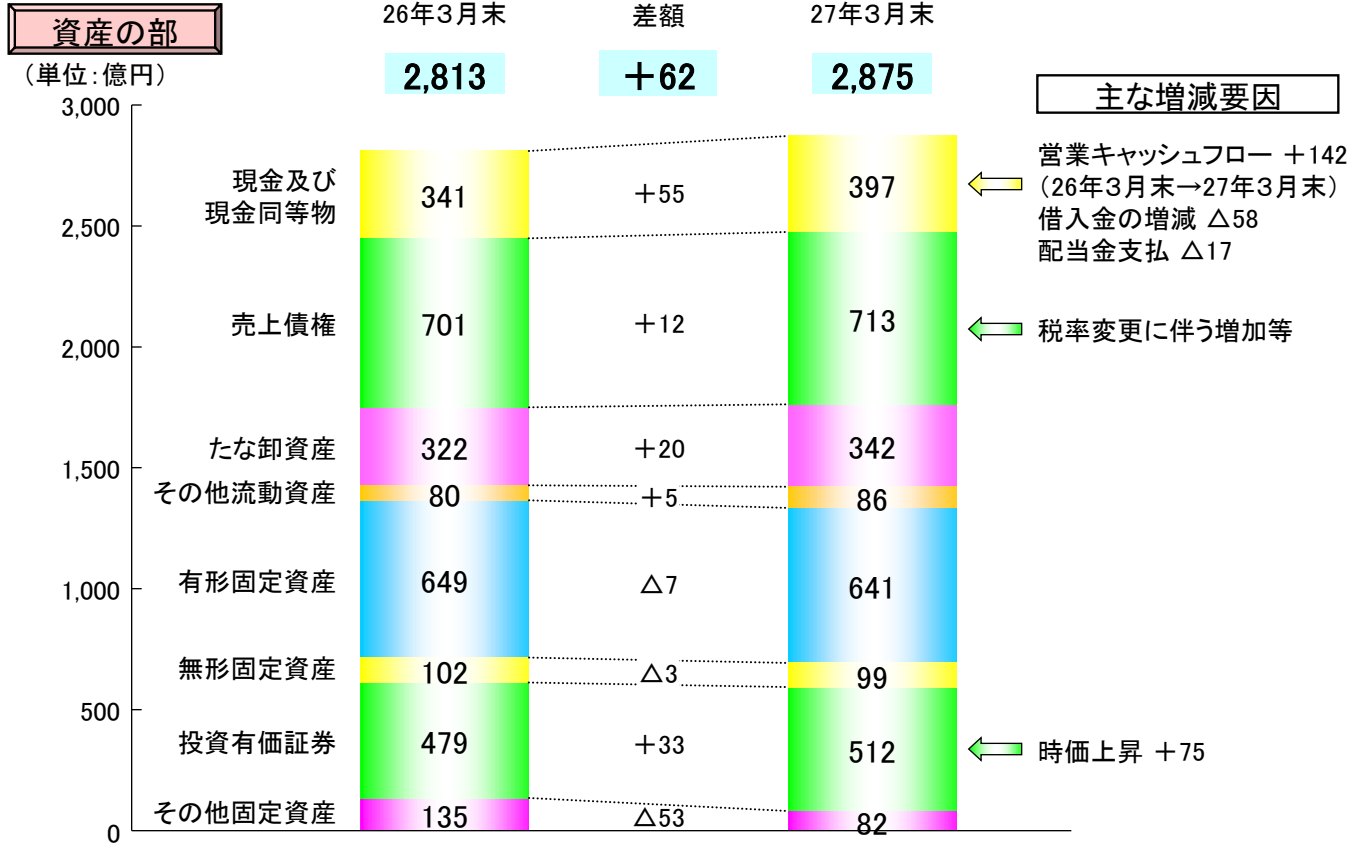
(単位:百万円)

	23年12月期 第1四半期	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
経常利益 (率)	4,838 (6.6%)	6,077 (7.9%)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	△829 (△0.8p)	△11.0%
特別損益	△254	△628	+261	+56	+26	△30	△53.6%
特別利益	+341	—	+261	+56	+1,266	+1,210	+2160.7%
特別損失	△595	△628	—	—	△1,240	△1,240	—
税金等調整前四半期純利益 (率)	4,585 (6.2%)	5,448 (7.1%)	6,112 (7.8%)	7,617 (8.8%)	6,758 (7.9%)	△859 (△0.8p)	△11.3%
法人税等	2,005	2,345	2,231	3,178	2,656	△522	△16.4%
四半期純利益 (率)	2,580 (3.5%)	3,103 (4.0%)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	△338 (△0.3p)	△7.6%

2. 貸借対照表の状況

有利子負債は減少しましたが、営業キャッシュフローの増加や投資有価証券の時価上昇等により、総資産は2,875億円となりました。

※比較のため前期の数値は26年12月期第1四半期(26年3月末)を使用しており、決算短信記載の数値と異なります。
 ※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。



3. キャッシュフロー・設備投資の状況

<キャッシュフロー>

営業キャッシュフローは△43億円、投資キャッシュフローは12億円となり、フリーキャッシュフロー(※)は△30億円となりました。
また、財務キャッシュフローは△11億円となりました。

以上の結果、当期末の現金及び現金同等物は、期首から42億円減少し、397億円となりました。

(※)フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー＋投資キャッシュフロー

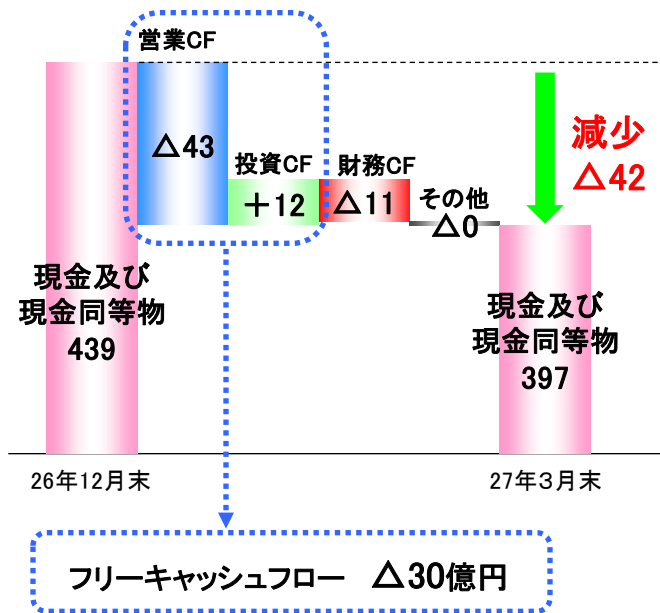
<設備投資>

設備投資は、16億円を実施しました。

※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。

□ 現金及び現金同等物の増減内訳 27年12月期<1～3月>

(単位:億円)



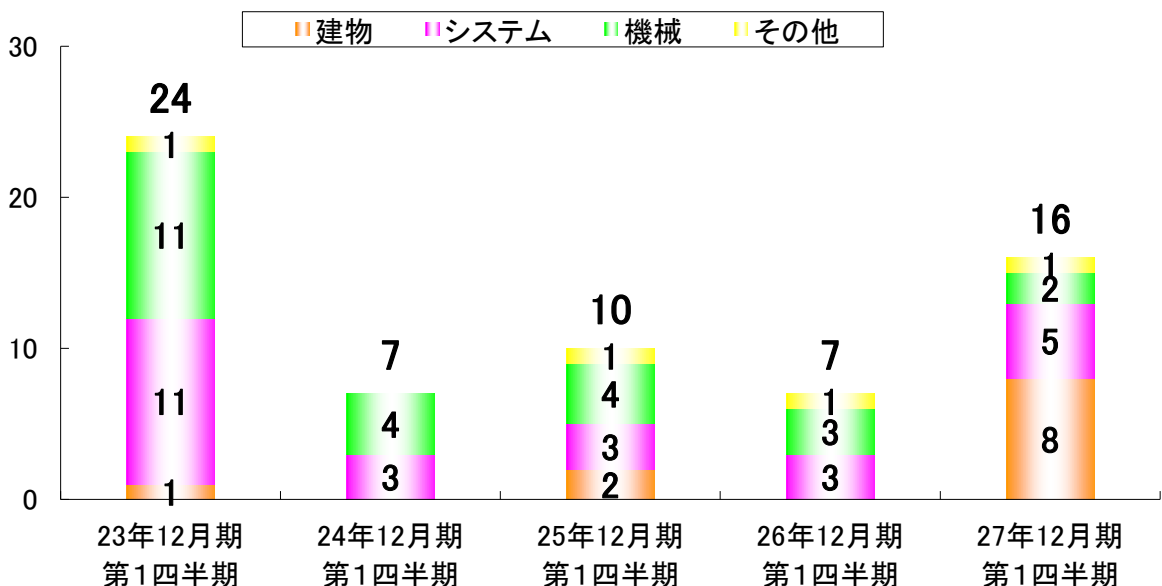
□ キャッシュ・フロー計算書 27年12月期<1～3月>

(単位:億円)

◆営業キャッシュフロー	△43
税金等調整前四半期純利益	+67
減価償却費	+17
賞与引当金の増減	+16
債権債務の増減	△106
たな卸資産の増減	△31
法人税等の支払	△8
その他	+1
◆投資キャッシュフロー	+12
関係会社株式売却収入	+16
投資有価証券の取得、売却	+13
設備投資	△16
◆財務キャッシュフロー	△11
借入金の増減	+2
配当金の支払	△8
その他	△5

□ 設備投資の推移

(単位:億円)



4. 事業セグメントの損益状況

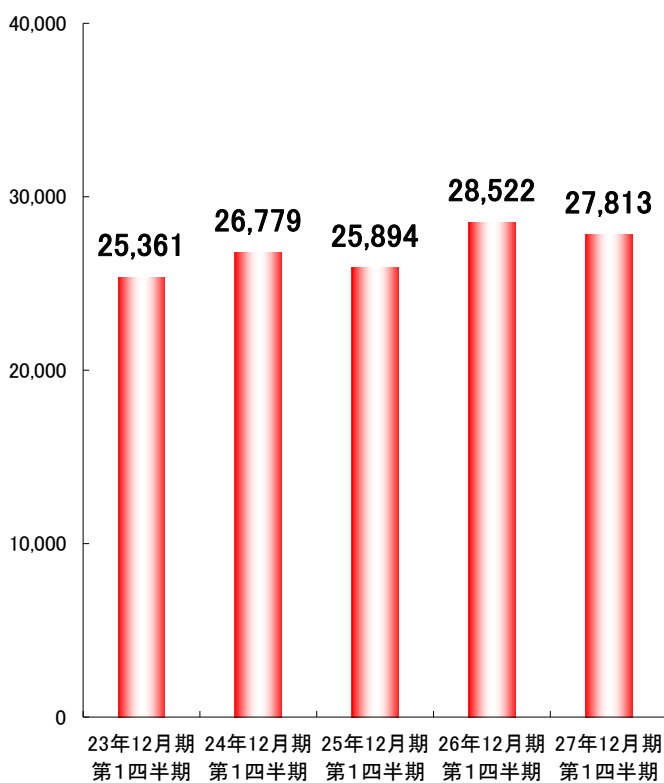
◆4-1 ステーションナリー関連事業

売上高は、海外事業は伸長したものの、国内事業が前年同期の駆け込み需要の反動から減収となり、前年同期比2.5%減の278億円となりました。

営業利益は、減収に加え、円安の進行による原材料価格や仕入商品価格の高騰等により、前年同期比27.8%減の24億円となりました。

売上高

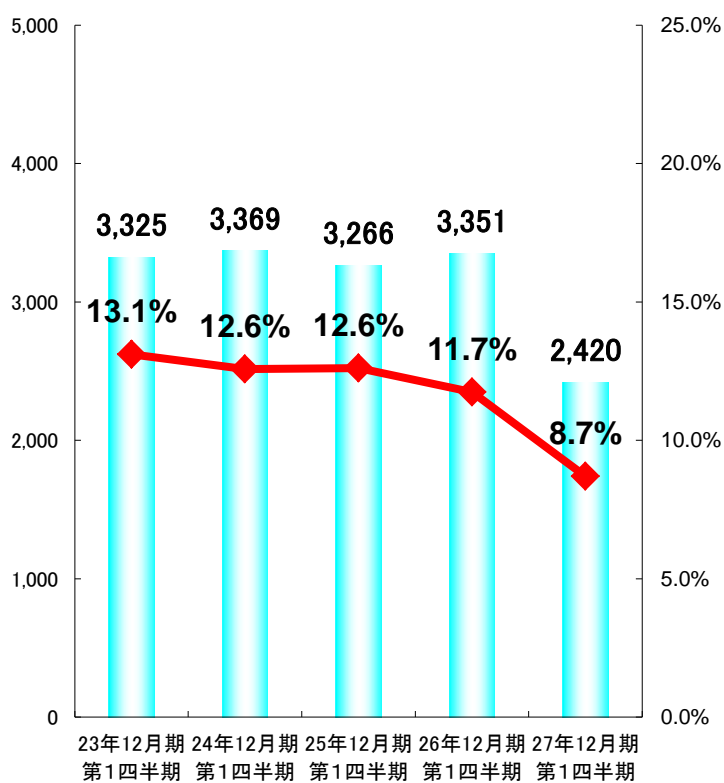
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	23年12月期 第1四半期	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	25,361	26,779	25,894	28,522	27,813	△709	△2.5%
営業利益 (率)	3,325 (13.1%)	3,369 (12.6%)	3,266 (12.6%)	3,351 (11.7%)	2,420 (8.7%)	△931 (△3.0p)	△27.8%

※24年12月期より「ステーションナリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

4. 事業セグメントの損益状況

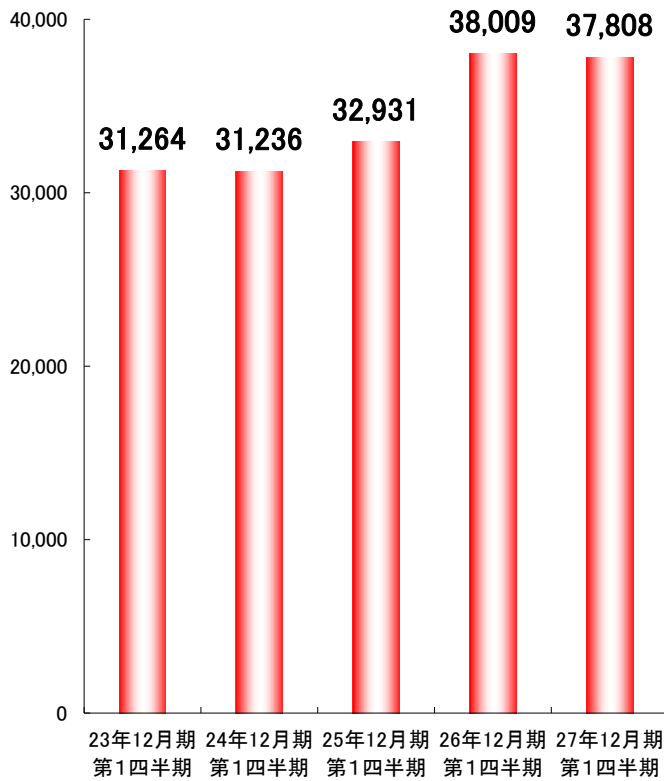
◆4-2 ファニチャー関連事業

売上高は、顧客企業への提案活動が堅調に推移したものの、店舗什器の販売が減少したこと等により、前年同期比0.5%減の378億円となりました。

営業利益は、国内事業の売上総利益率の改善により、前年同期比6.5%増の41億円となりました。

売上高

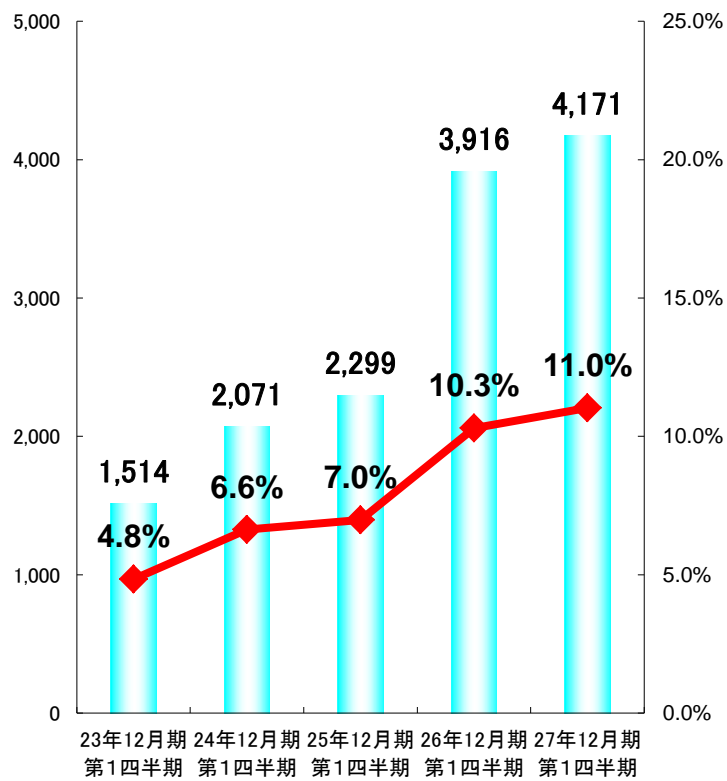
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	23年12月期 第1四半期	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	31,264	31,236	32,931	38,009	37,808	△201	△0.5%
営業利益 (率)	1,514 (4.8%)	2,071 (6.6%)	2,299 (7.0%)	3,916 (10.3%)	4,171 (11.0%)	+255 (+0.7p)	+6.5%

※24年12月期より「ステーションナリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

4. 事業セグメントの損益状況

◆4-3 通販・小売関連事業

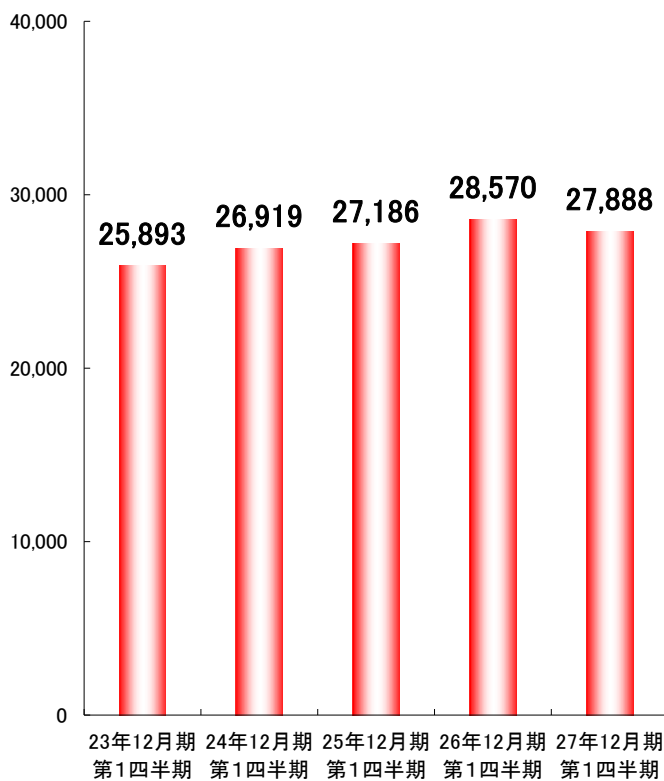
通販事業のカウネットに関しましては、前年同期の駆け込み需要の反動から減収減益となりました。

小売事業のアクタスに関しましては、売上高は前年並みとなり、営業利益は新規出店に伴う費用の増加により減益となりました。

以上により、通販・小売関連事業の売上高は、前年同期比2.4%減の278億円、営業利益は、前年同期比49.1%減の3億円となりました。

売上高

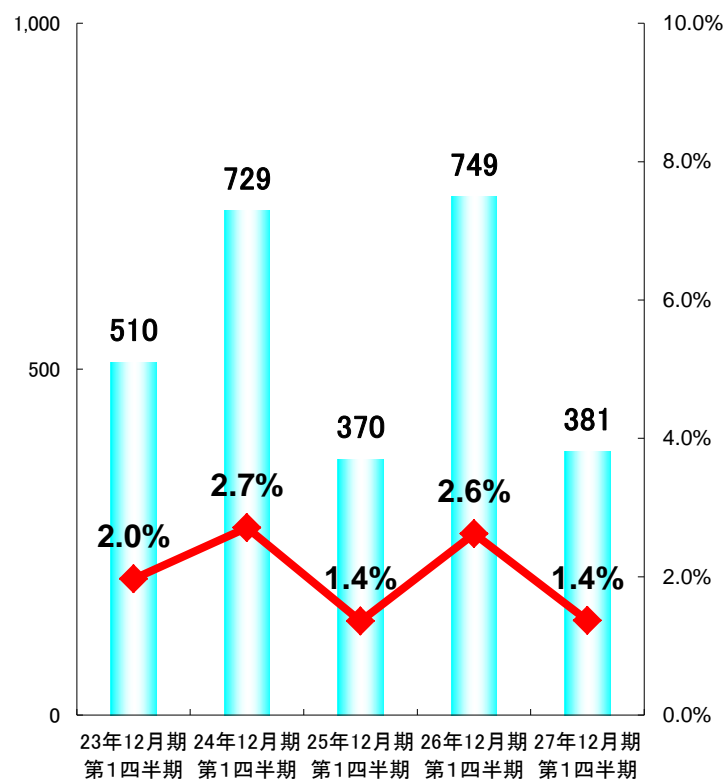
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	23年12月期 第1四半期	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	25,893	26,919	27,186	28,570	27,888	△682	△2.4%
営業利益 (率)	510 (2.0%)	729 (2.7%)	370 (1.4%)	749 (2.6%)	381 (1.4%)	△368 (△1.3p)	△49.1%

※24年12月期より「ステーションリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

5. 27年12月期の見通し

平成27年12月期の業績予想は、平成27年2月13日に発表いたしました「平成26年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はございません。

第2四半期累計

(単位: 百万円)

	26年12月期 第2四半期累計 実績 (6ヶ月)	27年12月期 第2四半期累計 予想 (6ヶ月)	前年差額	前年率差	増減率
売上高	156,243	158,000	+1,757		+1.1%
ステーションアリー	51,106	54,000	+2,894		+5.7%
ファニチャー	65,398	67,000	+1,602		+2.4%
通販・小売	54,462	54,000	△462		△0.8%
調整額	△ 14,724	△ 17,000	△2,276		-
営業利益(率)	7,396 (4.7%)	7,500 (4.7%)	+104	+0.0p	+1.4%
ステーションアリー(率)	3,649 (7.1%)	3,200 (5.9%)	△449	△1.2p	△12.3%
ファニチャー(率)	3,790 (5.8%)	4,600 (6.9%)	+810	+1.1p	+21.4%
通販・小売(率)	1,361 (2.5%)	1,500 (2.8%)	+139	+0.3p	+10.2%
調整額	△ 1,404	△ 1,800	△396		-
経常利益(率)	7,935 (5.1%)	8,100 (5.1%)	+165	+0.0p	+2.1%
四半期純利益(率)	3,995 (2.6%)	4,700 (3.0%)	+705	+0.4p	+17.6%

通期

(単位: 百万円)

	26年12月期 通期 実績 (12ヶ月)	27年12月期 通期 予想 (12ヶ月)	前年差額	前年率差	増減率
売上高	293,054	300,000	+6,946		+2.4%
ステーションアリー	93,646	98,000	+4,354		+4.6%
ファニチャー	120,695	123,000	+2,305		+1.9%
通販・小売	107,138	108,000	+862		+0.8%
調整額	△ 28,426	△ 29,000	△574		-
営業利益(率)	7,598 (2.6%)	8,350 (2.8%)	+752	+0.2p	+9.9%
ステーションアリー(率)	4,450 (4.8%)	4,200 (4.3%)	△250	△0.5p	△5.6%
ファニチャー(率)	4,155 (3.4%)	5,400 (4.4%)	+1,245	+0.9p	+30.0%
通販・小売(率)	2,073 (1.9%)	2,300 (2.1%)	+227	+0.2p	+10.9%
調整額	△ 3,080	△ 3,550	△470		-
経常利益(率)	9,643 (3.3%)	9,350 (3.1%)	△293	△0.2p	△3.0%
当期純利益(率)	5,065 (1.7%)	5,350 (1.8%)	+285	+0.1p	+5.6%

※この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

6. 主なトピックス

～ケーキにそっくり、おいしそうなノート！？～

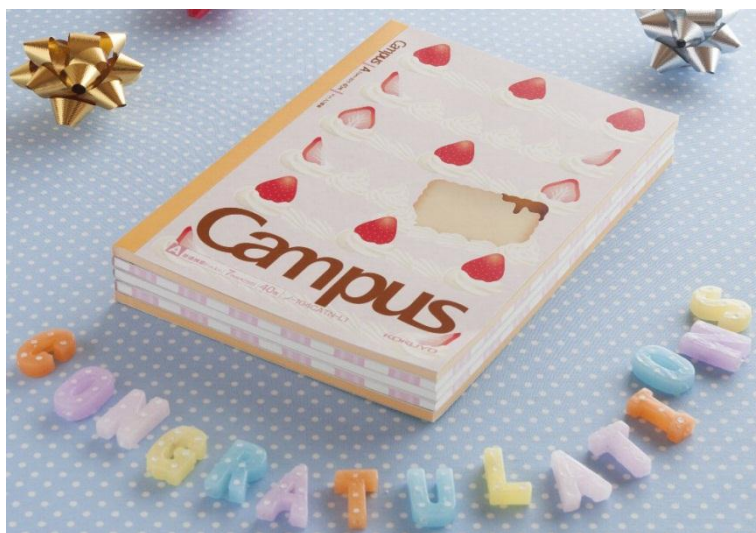
「キャンパスノート誕生40周年記念ケーキノート5冊パック」を限定発売

コクヨS&T株式会社は、1975年の発売以来、昨年12月末で累計27億冊以上を販売しているキャンパスノートが今年で発売40周年を迎えることを記念して「キャンパスノート誕生40周年記念ケーキノート5冊パック」を数量限定で発売しました。

「キャンパスノート誕生40周年記念ケーキノート5冊パック」は、A5サイズでドット入り罫線を採用しています。表紙デザインは「デコレーションケーキ柄」、「フレッシュイチゴ柄」(※)、「純白クリーム柄」、「ふわふわスポンジ柄」の4種類で、中紙にもイチゴなどの印刷がされており、重ねると側面が5層のケーキのように見えるデザインです。

また、ろうそくや星、「Happy Birthday」や「THANK YOU」と書かれた可愛いデコレーション用のシールが付いています。

(※)「フレッシュイチゴ柄」は2冊入り。



「キャンパスノート誕生40周年記念ケーキノート5冊パック」

～手に当たってもリング部分が気にならない新感覚のリングノート～

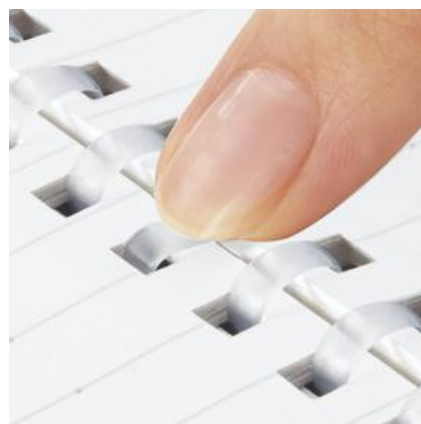
「ソフトリング®ノート(ドット入り罫線)」を発売

コクヨS&T株式会社は、独自開発の柔らかい樹脂製リングを採用した「ソフトリング®ノート(ドット入り罫線)」を発売しました。

「ソフトリング®ノート(ドット入り罫線)」は、当社が独自に開発した樹脂製で柔らかい「やわらかリング」を採用しており、書く時に手に当たっても気になりません。また、リングの形状がD字型なので、ページがめくりやすくノートの端がそろいやすいほか、リング自体が柔らかいことから、複数冊重ねたりカバンの中などに入れて持ち歩く際もリングが引っかかりにくく、かさばりません。



「ソフトリング®ノート(ドット入り罫線)」



「リング部分」

6. 主なトピックス

～組織力を最大化するオフィス～ コクヨファニチャー、「名古屋ライブオフィス」を開設

コクヨファニチャー株式会社は、社内組織間の強いつながりと顧客や外部パートナーとの新しいつながりから、組織力と個の力の最大化を目指す中部圏の拠点として“Link Tube(リンクチューブ)”をオフィスコンセプトとする「名古屋ライブオフィス」を開設しました。

「ライブオフィス」は、自らが次代のワークスタイル、ワークプレイスを実現し、そのリアルな様子をお客様に公開する実験オフィスです。昨年12月にリニューアルした「品川ライブオフィス SHIPP(シップ)」をはじめ、大阪「梅田ライブオフィス」や中国「上海ライブオフィス」等、国内外の主要拠点で展開しています。

「名古屋ライブオフィス」は、社内組織間のつながりの強化や外部パートナーとのコラボレーション等をキーワードに、社員自らが新しいワークスタイルを実践しており、その様子をお客様にも体感していただくことができます。

「名古屋ライブオフィス」のイメージ



～期間限定セールやキャンペーンなど創業15周年感謝企画を続々実施～ 「カウネット2015年春夏号カタログ」を発刊

株式会社カウネットは、創業15周年感謝企画を多数盛り込んだ新カタログ「カウネットカタログ 2015年春夏号(第29号)」を発刊しました。

新カタログでは、今年で創業15周年を迎えるにあたり、お客様への感謝を込めたキャンペーン「ありがとう祭!」を展開し、コピー用紙、フラットファイルなどのオフィスの必需品に加え、ティッシュペーパーやペットボトル入りのお茶など有名メーカーの日用品、飲料などを期間限定のお買い得価格で提供しています。



また、付加価値型オリジナル商品“「カウコレ」プレミアム”の新商品約90品番を発売するとともに、より多くのお客様に“「カウコレ」プレミアム”を知っていただくことと、商品のみならず商品開発に対する姿勢や考え方を理解、共感していただく方を増やすことを狙いとした“「カウコレ」プレミアムマガジン”を新発刊しています。

(左)「カウネットカタログ2015年春夏号(第29号)」
(右)「カウコレ」プレミアムマガジン2015年春夏号